

今回の学校だよりでは、5月から6月の学校行事等について紹介したいと思います。
生徒総会（5/31）を体育館で行いました。生徒会本部役員、議長、各常任委員会の代表の生徒が中心になり、本年度の活動計画等について議事を進めました。生徒会や各常任委員会からは工夫をしながら、具体的な目標や課題が提示されました。内容をよく理解し、全校生徒で協力して取り組んでもらいたいと思います。



6月に入りオープンスクール（6/3）を実施しました。保護者の皆さんに多数ご参加いただきありがとうございました。午前は授業参観でした。午後からは3年生と保護者の方を対象とした進路講演会も行いました。本年度は香芝高等学校と奈良育英高等学校から先生を招き、講演していただきました。両校とも本校からの受験生が多い学校です。香芝高校は校区内にある一番近い高校で一学年普通科8クラス（うち表現探究コース1クラス）の学校です。私立の奈良育英高校は奈良市にある普通科の学校で、学力に応じてコースがあり、大学との連携もあります。どちらの高校も本校の先輩が進学しています。自分が進学を考えている高校については、実際に進学している先輩にアドバイスをもらい様子を聞くのも大切だと思います。本校進路指導主任からも、進路についての心構えや本年度の年間計画を説明してもらいました。3年生は保護者の方としっかり話をして、自分の進路を決定してほしいです。

※ 高校の様子は各高校のホームページからご覧になれますので、検索してください。写真、動画もアップされ、学校の様子を詳しく知ることができます。ご活用ください。

教育実習（5/27～6/14）が始まりました。今年度は将来、教員を志望する9名の本校卒業生が実習を行っています。担当教員の指導の下、各教科の授業や学級運営、部活動など教員としての経験を積んでいきます。近年、教員を志望する学生が減ってきており、教員採用試験の倍率も低下しています。原因はさまざまですが、教員の仕事量や勤務時間の長さなど、教員の負担が大きいことが原因だといわれています。特に勤務時間に関しては、中学校では部活動指導も含めて時間外勤務も多くあります。「たいへんさ」が取り上げられることが多いですが、教員は子どもの成長を間近で感じることができる「やりがい」のある仕事です。教員を目指す皆さんに、この仕事が好き、働きがいのある仕事だと感じてもらえればと思います。時間外勤務の見直しや部活動の地域移行といった「教員の働き方改革」も進んでいます。保護者の皆さんにもご理解いただきたいと思います。



6月8日（土）、9日（日）に第33回香芝市総合体育大会が市内の各会場を中心に開催されました。各種目で頑張っている皆さんの活躍が見られました。3年生は最後の夏の県大会に向けてさらに頑張してほしいです。香芝ライオンズクラブ主催の「ふれあいコンサート」も8日に智辯学園奈良カレッジの講堂で行われました。本校の吹奏楽部が演奏をしてくれました。1年生部員もダンスで盛り上げてくれました。

オープンスクール、進路保護者会、また市総体などでたくさんの保護者の皆さんと出会いました。改めて学校教育への保護者の皆さまの関心の高さを感じました。教職員への応援もいただき、ありがとうございます。まもなく梅雨に入り、蒸し暑い気候になります。今年はここまで比較的過ごしやすい毎日が続いていますが、体調管理には皆さま、十分ご注意ください。 東風（こち）、次回に続く

